

事務局報告にかかる議事概要

(1) 平成26年度岐阜県における児童生徒の学習状況調査の結果について

学校支援課長等が、平成26年度岐阜県における児童生徒の学習状況調査の結果についてプレゼン形式で説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・子どもたちに何のためにこの勉強が必要なのかということを教えることが大切。全体のレベルを上げるためには、勉強は必要ないと考えている意欲のない子どもにいかに必要であるかを強調することが重要である。
- ・岐阜県の独自問題はもっとあってもよいと思う。

(教育長の補足説明)

- ・これまで教育委員の皆様には、全国学力テストの結果に一喜一憂するのではなく、大所高所から子どもたちの学力向上について考えていただいた。
- ・しかし、全国学力テストが世間の関心を集めるようになり、順位が全国的に下位になると危機感を感じるようになってきている。
- ・これまでも県独自の学力テストを実施してきたが、今回は、全国学力テストの問題形式を意識したものを作ってみた。ただし、模試のようになるのはつまらないので、岐阜県が大事にしているふるさと教育を生かしながらということで、プレゼン形式で説明させていただいた。

(委員からの主な意見)

- ・4年生で学習した小数点の足し算が、6年生になると正答率が悪くなるのはなぜか。

(学校支援課長等の補足説明)

- ・新しく小数点の掛け算を学習すると、以前に学習した足し算を忘れてしまうということがある。単に繰り返すだけでなく、以前に学習した内容を振り返りながら、考え方と一緒に学習していく必要がある。

(2) 岐阜県英語ふるさと副教材について

学校支援課長が、岐阜県の自然、歴史、伝統文化、産業等を英語で紹介する活動を掲載した「岐阜県英語ふるさと副教材」について説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・副教材の日本語版はあるのか。

(学校支援課長の補足説明)

- ・日本語に訳した冊子を作成する予定はないが、付録のCDで画像を見ると日本語訳が出るような仕組みになっている。

(委員からの主な意見)

- ・インターネットで配信する予定はあるのか。

(学校支援課教育主管の補足説明)

- ・インターネットアプリを使って動画形式で見られたり、英文を途中で止めて自分でリピートしたりと自由自在に使うことができるように、4～5月を目途に準備を進めている。

(3) 岐阜県における全国レベルの表彰について

教育総務課長が、岐阜県内の児童生徒が受けた全国レベルの表彰について報告した。

(特に意見なし)

(4) 平成26年度教育委員行事予定について

教育総務課長が、平成26年度の教育委員行事予定について報告した。

ホームページ公開

(特に意見なし)

(5) 平成27年度教育委員行事予定について

教育総務課長が、平成27年度の教育委員行事予定について報告した。

(特に意見なし)

○その他

教育長が、改正地方教育行政法第13条第2項の規定によりあらかじめ指名する教育長の職務代理者を稲本正委員とすることについて報告した。

以上